

6年ぶりにベ
ルーナドームで行
われた開会式



第45回よみうり杯争奪西武沿線少年野球大会(共催・読売新聞東京本社)読売会・報知新聞社ほかのベルナードで行われたりとなる開会式にアリーク生以下、59の計39チーム選手たちが集結。昨年、3の連覇を達成した西埼玉をほけ、頂点、向けて闘

開会式6年ぶり

6年ぶりに小学生たちの元気な声が響き渡った。コロナ禍の影響で、2019年以来開催となっていたアリーク合わせて39チームの選手たちの笑顔が、懐しの地で整列した。約3000人の選手を代表し、双柳レッドツツクス・新井城之助主将(6年)が、最後まで諦めることなく白球を追いかけて、熱い大音響すること、今大会で選手宣誓をした。

西埼玉少年野球の連覇記録が第41回大会だった昨年、大会史上初の3連覇を達成。記録更新大会が焦点だが、吉野町長(51)は「確実に獲っていくことは負けない」と断言した。

昨年からレギュラーは新井一翔投手(6年)だけだが、「6年生だけで18人と層は厚い」と吉野町長。投手陣は青木幹大野将(6年)、新井と右の2本柱が抜群の安定感を誇る。打線も3番水村雄樹、4番早川賢真(ともに6年)、5番新井を中心に9人中6人

といたま報知は

で…!!

はじめは疑っ
けれど1回使
みたら…!!

取材

シミ、実はレーザー治療で
大失敗の過去

40歳をすぎた頃からシミをリアルに
手感してきただけで今までなん
と多めのスキンケアがなされてきたこ
ーか!。もうレーザーに頼りたい
かない」と思っている「レーザーを試す
が結果が期待外れであるか、一掃気にな
るのに懸念が残ってしまっている」

58歳、なのに30代にしかな
見えない美容師の勧めで

友人から「美容師の友人が敷
金なしでエステデビューしたんで驚い
た女性関係者ならでは
ないか?」けれど、一体他のケルと
何が違うのか?

確かに「フラスエント」はすごい。
けれど秘密裏に
実はそこではないかった!

このケルの注目のところは、水溶性フ
ラスエントエッセンスの理由となるメ
ソッドの生成を知りすぎると、美白効果
が確認された厚労省御認可の凄じ美
白エッセンスだ。それとはまた別のケル
にもあった。ケルの違いは二目!
なんとあの「セラミ」を独自の「ナノカ
プセル技術」によって約100ナノメー
ターまで小さく「ナノ化」することで、通
過できる。

広告

た私。
って

文・美容ライター 國本

満足度
アンケート
第1位
美肌のヒラプラス
RANKING

発売から間もないのに、化粧品満足度アンケートで第1位に選ばれたのは、美肌のヒラプラスだけあるという。さかひがシミに悩まはじめたことと開発のきっかけをオシの試品。美容ライターのブランドをもっと知ってもらいた、そこには悩